教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検評価報告書

第２次阿見町生涯学習推進計画

（令和７年度）

阿見町教育委員会

目次

はじめに..... 2
1 いきいき学びの町 AMI 推進会議の活動状況..... 3
2 点検及び評価の方法..... 4
3 点検及び評価対象事業..... 5
4 基本目標別の点検及び評価..... 6
　基本目標１ だれもが学べる環境..... 6
　基本目標２ だれもが学べる機会..... 12
　基本目標３ 地域で取り組む教育・学習活動..... 23
　基本目標４ みんなの力を生かした連携・協働..... 30
　基本目標５ だれもがスポーツを楽しめる環境..... 36
　基本目標６ みんなでつなげる文化・歴史..... 40
5 全体の評価及び今後の進め方..... 46

本書の構成

基本目標ごとに目指す姿、重点プロジェクトの目標指標と実績、基本方針ごとの取組方針、具体的施策、識者意見及び今後の進め方を掲載しています。

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条では、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとされています。また、点検及び評価に当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされています。

本報告書は、同法の趣旨を踏まえ、第 2 次阿見町生涯学習推進計画の進捗状況を把握し、施策及び事業の成果と課題を明らかにするとともに、今後の取組の改善につなげるため、令和 7 年度の点検及び評価を取りまとめたものです。

同計画は「一人いち学習・いちスポーツ・いちボランティア ～ともに学び ともに築く 輝きのあるまち～」を基本理念とし、令和 5 年度から令和 15 年度までを計画期間としています。前期基本計画は、令和 5 年度から令和 10 年度までの 6 年間です。

点検及び評価に当たっては、各担当課が整理した実績資料に基づき、いきいき学びの町 AMI 推進会議において、重点プロジェクトの取組状況を審議しました。本書は、その総合評価及び委員の意見を附し、今後の進め方を整理したものです。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条　教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

２　教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

1 いきいき学びの町 AMI 推進会議の活動状況

開催状況

項目	内容
会議名	令和 8 年度 いきいき学びの町 AMI 推進会議
開催日時	令和 8 年 7 月 28 日（火）15 時 30 分～16 時 50 分
開催場所	阿見町立中央公民館 3 階 集会室
議題	第 2 次阿見町生涯学習推進計画進行管理 令和 7 年度実績及び令和 8 年度目標値
出席状況	委員 12 人出席、2 人欠席
公開区分	公開

2 点検及び評価の方法

対象と評価の進め方

対象は、令和７年度に実施した重点プロジェクト及び具体的施策です。重点プロジェクトの個別指標は、令和７年度実績の年度目標に対する達成率により評価し、総合評価は取組内容と委員の意見を踏まえて推進会議で決定しました。

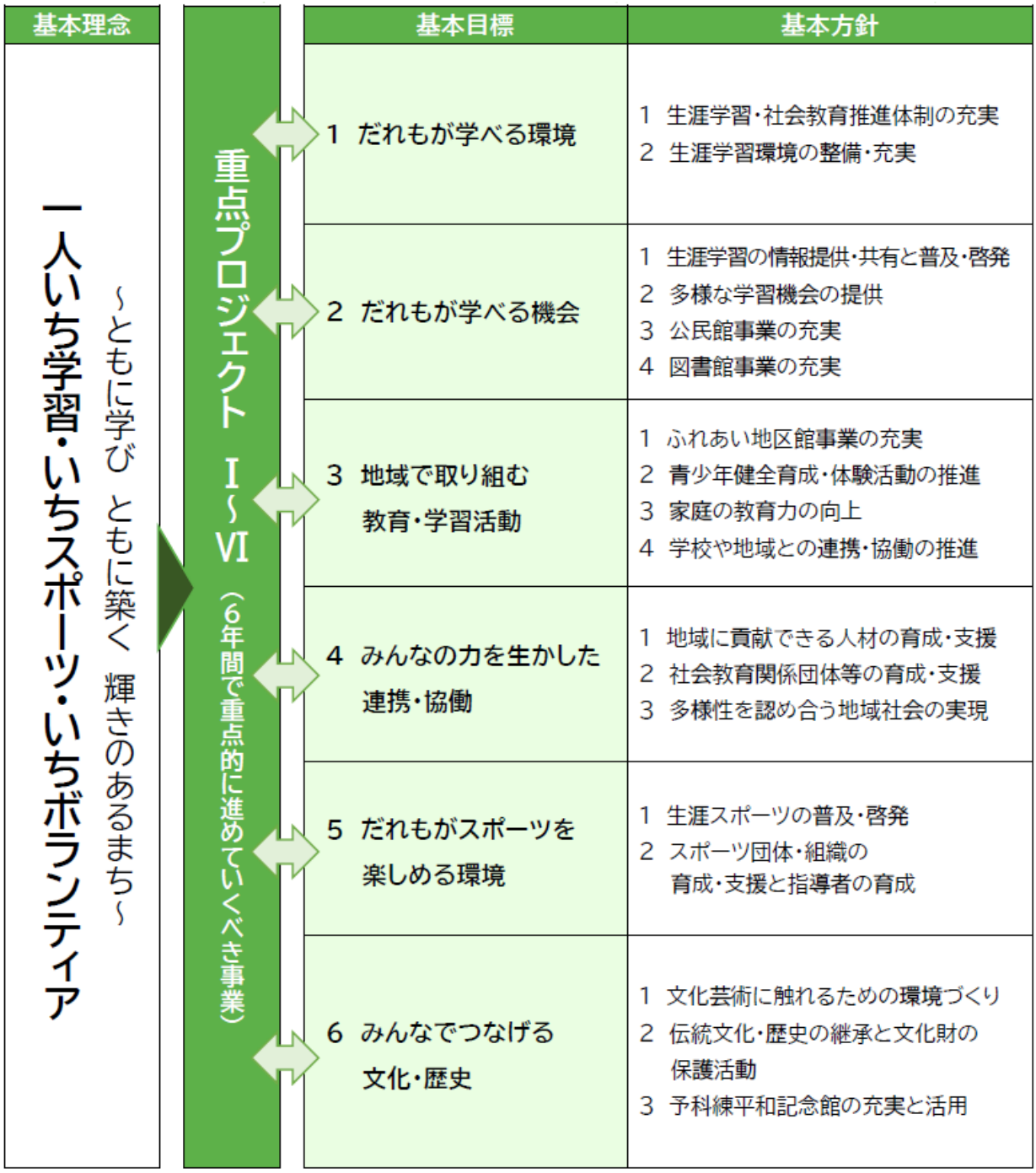
評価	議事録で説明された達成率の基準
A	90%以上
B	70%から 89%
C	69%以下

教育に関する識者

点検及び評価にあたっては、客観性を確保するとともに、阿見町生涯学習推進計画に精通する識者からご意見をいただきました。

	氏名	所属等	備考
1	綾部　明江	茨城県立医療大学 いきいき学びの町ＡＭＩ推進会議会長	識見を有する者（学識経験者）
2	落合　剛	町議会議員代表	議会を代表する者
3	糸賀　忠	区長会代表	識見を有する者
4	遠藤　壽子	男女共同参画代表	識見を有する者
5	滝本　由香里	子ども会育成連合会代表	生涯学習関連団体を代表する者
6	大竹　けい子	ボランティア連絡会代表	生涯学習関連団体を代表する者
7	大釜　篤実	ＰＴＡ連絡協議会代表	生涯学習関連団体を代表する者
8	田上　昌美	社会教育関係団体	生涯学習関連団体を代表する者
9	向島　孝志	スポーツ協会代表	生涯学習関連団体を代表する者
10	長沼　繁代	民生委員児童委員協議会代表	識見を有する者
11	長谷川　哲也	社会教育委員代表	生涯学習関連団体を代表する者
12	菅澤　直美	学校長会代表	識見を有する者
13	宮本　和浩	商工会代表	識見を有する者
14	渡邉　登	文化協会代表	生涯学習関連団体を代表する者

3 点検及び評価対象事業



4 基本目標別の点検及び評価

基本目標１ だれもが学べる環境

重点プロジェクトⅠ　総合評価 A

■目指す姿■

町民が安全で快適な施設を利用し、大学・企業等と連携した質の高い学習に参加できる環境を整えます。

■点検及び評価■

大学・企業等との連携や施設予約システムの活用が進み、電子申請についても事業数と利用者数を分けて評価した。推進会議では、一部の個別指標にＣ評価があることを確認した上で、総合評価をＡとした。

■目標指標■

目標指標及び指標の考え方	担当課	R7 目標値	R7 実績	達成率	評価
1 大学や企業などとの連携数 〈大学連携公開講座やあみ子ども大学、ふれあい地区館活動等で大学や企業などと連携して行った講座数〉	生涯学習課	8回	9回	113%	A
	中央公民館	8回	14回	175%	A
3-1 いばらき公共施設予約システムの活用 〈いばらき公共施設予約システムを導入した施設数と利用回数〉	生涯学習課	2施設 5,500回	2施設 6,643回	121%	A
	中央公民館	導入検討	導入検討	100%	A
3-2 いばらき電子申請・届出サービスの活用 〈いばらき電子申請・届出サービスを活用した事業数と利用者数〉	生涯学習課	15事業 1,000人	12事業 1,267人	80% 127%	B A
	中央公民館	1事業 200人	3事業 67人	300% 34%	A C

□主な事業□

事業名	内容	担当課
あみ未来塾・あみスポーツフェスタ等	あみ未来塾(あみプレミアム・アウトレット支配人等)6回、あみスポーツフェスタ(雪印メグミルク等)、オリガミクス体験(県立医療大学) あみ子ども大学は未開催。	生涯学習課
ふれあい地区館活動	フレイル予防講座 阿見１回、実穀１回、吉原１回、本郷１回 君原１回、舟島１回、第一６回、第二１回 体力測定・講演会 筑波大学 実穀本郷舟島合同１回	中央公民館
公共施設予約システムの運用	令和８年８月に、新システムへ移行予定である。引続き、総合運動公園と町民体育館の２施設において活用する。	生涯学習課
公共施設予約システムの導入検討	いばらき公共施設予約システムが令和８年度で終了し新システムへ移行することから、導入へ向けて関係機関と調整を進めている。	中央公民館
電子申請・届出サービスによる受付	利便性の向上のために、インターネットでの申し込みを取り入れた。 共に育む「教育の日」講演会やクリスマスコンサート、マラソン大会等において活用した。	生涯学習課

事業名	内容	担当課
	パソコンやスマートフォンなどから、イベント等の申込みができるよう、いばらき電子申請・届出サービスでの受付を実施した。 町民セミナー「好き」で飯食うバッタの博士 45 人 フロアコンサート 5 人 音楽祭 17 人	中央公民館

基本方針 1-1 生涯学習・社会教育推進体制の充実

■取組方針■

これまで築きあげた生涯学習の成果を生かしながら、組織体制の強化を図ります。
産学官などの連携協働を深め、社会情勢に対応した高度専門的な学習機会を提供します。

■具体的施策■

【具体的施策 1】 生涯学習・社会教育推進体制の強化

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
いきいき学びの町 AMI 推進会議	生涯学習課	1 回	100%	第 2 次生涯学習推進計画の進行管理と令和 6 年度実績の総合評価を行った。
社会教育委員会議	生涯学習課	2 回	200%	社会教育関連事業について、第 1 回では昨年度の実績と今年度の計画について、第 2 回では今年度の実績について審議した。
文化芸術振興審議会	生涯学習課	1 回	100%	令和 6 年度までの総括評価を行うとともに、第 2 次生涯学習推進計画と連動した形で文化芸術面の評価と推進を行うことを確認した。
図書館協議会	図書館	2 回	100%	図書館の運営について、年 2 回の図書館協議会を開催した。
予科練平和記念館運営協議会	予科練平和記念館	2 回	100%	記念館の運営についての協議会。第 1 回は前年度実績報告、第 2 回は翌年度の事業計画について協議した。

【具体的施策 2】 産学官等連携の強化

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
【重点】 大学連携公開講座	生涯学習課	1 回	50%	茨城大学農学部の井上栄一教授を講師に招き、「茨城の果物を味わう・知る・楽しむ」をテーマに 8 月から 11 月までの期間で講座を開催した。(受講者は 12 人。5 回講座で延べ 56 人参加。)

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
【重点】 あみ子ども大学	生涯学習課	0 回	0%	「車いすバスケットボール」を実施する予定であったが、参加人数が集まらず開催しなかった。周知を速やかに行う必要がある。令和８年度より、あみ子ども未来塾に変更し、実施していく。
あみ未来塾	生涯学習課	6 回	150%	新規コースの講座では、茨城大学農学部の教授やあみプレミアム・アウトレットの支配人等に講師を行っていただいた。
国(文科省)・茨城県の事業との連携	生涯学習課	7 件	70%	伝統文化親子教室、いばらきっ子郷土検定、県青少年相談員連絡協議会等
【重点】 ふれあい地区館活動	中央公民館	14 回	175%	フレイル予防講座 阿見１回、実穀１回、吉原１回、本郷１回、君原１回、舟島１回、第一６回、第二１回 体力測定・講演会 筑波大学 実穀本郷舟島合同１回
町民セミナー	中央公民館	3 回	300%	健康医学講座スペシャル 4 回連続講座 講師:磯部 和正 氏(医学博士) 「好き」で飯食うバッタの博士 講演会 講師:前野 ウルド 幸太郎 氏 人生 100 年時代、家族で学び考える終活講座 講師:大野 利明 氏(行政書士)

□識者意見□

（長谷川委員）

予算がなくて実施できないということにならないよう、計画と財政の整合を図る必要がある。予算化が必要なものは、社会教育委員会の提言や意見書にも盛り込んでいただきたい。

□今後の進め方□

大学・企業等との連携を継続するとともに、予算を要する取組については、社会教育委員会等の意見も踏まえ、計画と実施内容の整合を図ってまいります。

基本方針 1-2 生涯学習環境の整備・充実

■取組方針■

生涯学習施設の適正な維持管理と長寿命化に向けた計画的な施設修繕改修を推進します。
新たな施設整備や施設への新規設備の追加について総合的に検討を行います。
施設の周知を図るとともに、町民が交流しやすい環境をつくり、公民館の付加価値を高めます。
近隣市町村との相互利用の促進やオンラインを活用した予約申込みなどを検討し、利便性向上に努めます。

■具体的施策■

【具体的施策 1】 生涯学習施設の充実

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
総合運動公園維持管理	生涯学習課	85,617 人	86%	施設利用者数 令和 7 年度 B 球場ナイター照明 LED 化
町民体育館維持管理	生涯学習課	18,462 人	92%	施設利用者数 （令和 6 年度実績は、工事のため 4 月～6 月の 3 か月間のみ開放。）
町民プール維持管理	生涯学習課	（維持管理施設無し） 0 人	―	令和 7 年度より学校の水泳授業は、阿見小・第一小を除き、民間プール利用となった。学校で阿見中学校のプールを使用しなくなったことに合わせて、町民プールの一般開放も令和 7 年度より行わないこととした。 令和 11 年度開館予定の温水プール整備を進めているため、R7 以降の実績は「0 人」となる。
放課後児童クラブ維持管理	生涯学習課	1,053 人	96%	利用申込者数
放課後子ども教室維持管理	生涯学習課	495 人	83%	参加申込者数
【重点】 公民館・コミュニティセンター維持管理	中央公民館	178,038 人	89%	実績は 7 施設の総利用者数 施設の維持管理修繕・工事は以下のとおり 令和 6 年度:舟島ふれあいセンターの外壁改修及び屋上防水工事、中央公民館で内装と設備を中心に大規模改修工事 令和 7 年度:空調(君原)、駐車場区画線(本郷)、誘導灯(本郷、舟島)、エレベーター(舟島)の修繕等 令和 7 年度～令和 8 年度:かすみ公民館大規模改修工事 令和 8 年度は君原公民館の大規模改修工事を実施予定。令和 9 年度以降についても、修繕計画に基づきながら、順次各施設の改修工事等を行うとともに、緊急の修繕を適切に行っていく。

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
図書館維持管理	図書館	100,214 人	100%	令和５年度:タイル補修工事、トイレ漏水修理工事 令和６年度:防水部分修繕工事、消防設備修繕工事、屋上タラップ破損部修繕工事 令和７年度:自動ドア修繕工事 令和８年度:電気設備、児童コーナー改修工事 R9:給排水設備改修工事
予科練平和記念館維持管理	予科練平和記念館	45,532 人	83%	年間来館者数 屋上防水外壁改修工事に伴う臨時休館(令和７年９月１日～令和８年１月 31 日)による減

【具体的施策 2】 各施設の利便性の向上

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
【重点】 いばらき公共施設予約システムの活用	生涯学習課	2 施設 6,643 回	95%	令和８年８月に、新システムへ移行予定である。引続き、総合運動公園と町民体育館の２施設において活用する。
	中央公民館	導入検討	0%	令和８年度より新システムへ移行されることから、仕様等を確認しながら、導入に向け検討を進める。
【重点】 いばらき電子申請・届出サービスの活用	生涯学習課	12 事業 1,267 人	63%	利便性の向上のために、インターネットでの申し込みを取り入れた。共に育む「教育の日」講演会やクリスマスコンサート、マラソン大会等において活用した。
	中央公民館	3 事業 67 人	63%	パソコンやスマートフォンなどから、イベント等の申込みができるよう、いばらき電子申請・届出サービスでの受付を実施した。
郡市相互利用協定	生涯学習課	2 施設	100%	協定に基づき、稲敷市・稲敷郡の在住者が総合運動公園と町民体育館を利用する場合は町内料金としている。
	中央公民館	7 施設	100%	協定に基づき、稲敷市・稲敷郡の地方公共団体及びそこに所在する学校等が公民館・コミュニティセンターを利用する場合は料金を免除としている。
生涯学習施設の新たな機能の充実	生涯学習課	2 施設	40%	令和６年度 町民体育館空調新設 令和７年度 B 球場ナイター照明 LED 化 令和８年度(予定) 旧実穀小体育館トイレ改修 旧吉原小体育館トイレ改修
	中央公民館	3 施設	43%	令和７年度に新たに追加した機能はないが、かすみ公民館大規模改修工事(令和８年完了予定)にて施設機能の充実を図っている。

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
	図書館	0 施設	0%	令和８年度、内閣府の地域未来交付金事業採択を受け、児童コーナーの地域交流拠点整備事業を実施する。
	予科練平和記念館	2 件	100%	学芸員の出張講演会においてオンラインでの開催を実施。その他、関連施設ネットワーク会議においてオンラインでの遠隔開催を行っている。また、イベント申込にいばらき電子申請・届出サービスを使用している。
大学図書館と町立図書館の連携	図書館	貸出 4 冊 借受 51 冊	27% 510%	茨城大学や県立医療大学、筑波大学の各図書館との相互貸借を実施している。
図書館間の協力（相互貸借制度）	図書館	貸出 280 冊 借受 394 冊	107% 79%	県内他自治体図書館との相互貸借を実施している。

□識者意見□

（綾部会長）

電子申請の事業数と利用者数について、どの数値に対する評価かを確認した。オンライン化については、町全体で働きかけ、予算化も含めて取り組んでいただきたい。

（長谷川委員）

温水プールや体育館のエアコンなど、重要な施設整備は、必要に応じて基本計画を一部変更し、実施計画と予算につなげる必要がある。

□今後の進め方□

施設予約や各種申込みの利便性向上に向け、新システムの仕様を確認し、関係機関と調整を進めてまいります。オンライン化に必要な経費や体制を整理し、導入検討にとどまらず実施につながるよう取り組みます。施設整備や改修については、安全で快適な利用環境の確保に努めるとともに、計画への位置付けと予算との整合を確認してまいります。

基本目標２ だれもが学べる機会

重点プロジェクトⅡ　総合評価 B

■目指す姿■

多様な情報提供と学習機会を通して、年齢や生活様式にかかわらず学びに参加できるようにします。

■点検及び評価■

ICT による情報提供や各種講座、図書館サービス等の取組が行われた。一方、オンライン講座や窓口サービスのオンライン化には課題が残った。推進会議では、オンライン化を検討から実施へ進める必要があるとして、総合評価をＢとした。

■目標指標■

目標指標及び指標の考え方	担当課	R7 目標値	R7 実績	達成率	評価
1-1 ICT を活用した情報提供数 〈町ホームページやあみメール、スクリレ、SNS など、ICT を活用して情報提供を行った事業数〉	生涯学習課	35 事業	33 事業	94%	A
	中央公民館	6 事業	7 事業	117%	A
	図書館	23 事業	23 事業	100%	A
1-2 サークル・グループの情報発信 〈サークル・グループの情報の配信回数〉	中央公民館	3 回	7 回	233%	A
1-3 イベントなどの参加者へのアンケート実施回数 〈イベント・講座・教室参加者へのアンケート実施回数〉	生涯学習課	8 回	8 回	100%	A
	中央公民館	80 回	135 回	169%	A
	図書館	30 回	29 回	100%	A
	予科練平和記念館	4 回	12 回	300%	A
2-1 平日夜間の講座の実施回数 〈ナイトスクールなど、平日夜間の講座の実施回数〉	中央公民館	2 回	6 回	300%	A
2-2 グランド・ジェネレーション講座の実施回数 〈高齢者を対象とした講座の実施回数〉	中央公民館	5 回	5 回	100%	A
2-3 ふれあい地区館専門部会の実施回数 〈ふれあい地区館専門部会の実施回数〉	中央公民館	650 回	684 回	105%	A
2-4 三世代交流会の実施回数 〈三世代交流会の実施回数〉	中央公民館	8 回	9 回	113%	A
2-5 オンラインを取り入れた講演会などの実施回数 〈オンラインを取り入れた講演会・講座・教室の実施回数〉	生涯学習課	1 回	導入検討	0%	C
	中央公民館	1 回	0 回	0%	C
	図書館	1 回	0 回	0%	C
	予科練平和記念館	2 回	2 回	100%	A
3-1 窓口サービス利便性の向上 〈講座の申込みや施設の予約などをオンライン申請で行った人の割合〉	中央公民館	10%	導入検討	0%	C

目標指標及び指標の考え方	担当課	R7 目標値	R7 実績	達成率	評価
3-2 講座の実施回数 〈前期・後期講座の実施回数〉	中央公民館	80 回	101 回	126%	A
4-1 図書館資料の貸出点数 〈図書館の図書・雑誌・視聴覚資料の貸出点数〉	図書館	210,000 点	190,048 点	90%	A
4-2 読書記録帳の登録者数 〈読書記録帳の登録者数〉	図書館	1,150 人	1,202 人	105%	A
4-3 講演会・講座・教室の実施回数 〈講演会・講座・教室の実施回数〉	図書館	5 回	6 回	120%	A

□主な事業□

事業名	内容	担当課
ICT を活用した情報提供	紙媒体と併用し、多様な発信手段を用いることで、幅広い層に周知を図った。	生涯学習課
	情報発信・情報提供の充実のため、紙媒体に加え、ホームページや SNS などを活用した。	中央公民館
	情報発信・情報提供の充実のため、ICT を活用した。	図書館
サークル・グループの情報発信	各施設に登録されている社会教育関係団体のサークル情報をホームページ等に掲載する。	中央公民館
イベント・講座等の参加者アンケート	参加したくなるイベントや講座等を提供できるよう、町民ニーズの把握を行った。	生涯学習課
	アンケート結果を参考に講座等の更なる内容の充実を図っている。	中央公民館
	上映会ほかイベント時にアンケートを実施。	図書館
	実施方法等の検討に活用するため、講演会やイベント等開催時に随時アンケートを実施している。	予科練平和記念館
ナイトスクール	日中仕事等で参加できない方へ向けた講座 そば打ち教室と Word&Excel、ネイル講座 各２回 延べ 445 人参加	中央公民館
グランド・ジェネレーション講座	中央公民館や君原公民館等にスマホ講座を実施した。 吉原交流センターにて特別講座として終活講座を実施した。 延べ 280 人参加	中央公民館
ふれあい地区館専門部会	部会毎に計画を立て事業に取り組んでいる。 運営委員会 139 回、高齢部会 218 回 女性部会 88 回、青少年部会 85 回 成人部会 73 回、体育部会 81 回 6,695 人(延べ)	中央公民館
三世代交流会	お楽しみ会や輪投げ、のど自慢など三世代で楽しめるイベントを実施した。 延べ 960 人参加	中央公民館
オンライン講演会・講座等の導入検討	事業の性質を精査し、オンラインで実施可能なものについて検討する。	生涯学習課
オンライン講座の導入検討	オンライン講座の実施に向け、検討を行ったが実施まで至らなかった。	中央公民館

事業名	内容	担当課
オンライン講演会・講座等の導入検討	事業の性質を精査し、オンラインで実施可能なものについて検討する	図書館
学芸員のオンライン出張講演会	学芸員の出張講演会をオンラインで実施した。	予科練平和記念館
窓口サービスのオンライン化	公共施設予約システムについては、令和８年度に移行する新システムの仕様等を調査し、導入に向けて検討を進める。	中央公民館
公民館・コミュニティセンター講座	音楽、運動健康、生活文化、美術、学習、料理、デジタルのカテゴリに分類し様々な講座を実施した。	中央公民館
図書館資料の収集・貸出	魅力的な蔵書とするため、利用者からのリクエストにも応えながら資料の収集を実施している。	図書館
読書記録帳の発行	従来の児童、学生に加え、令和７年３月から一般を対象に読書記録帳を発行。	図書館
図書館の講演会・講座・教室	英語絵本の読み聞かせ、絵本の修理講座、英語の絵本の読み聞かせと楽しいクラフト作成、絵本専門士による読み聞かせ講座、大人の折り紙教室を開催	図書館

基本方針 2-1 生涯学習の情報提供・共有と普及・啓発

■取組方針■

ＩＣＴやあらゆる機会場所を活用し、きめ細かな生涯学習の情報提供共有を図ります。
生涯学習フェスティバルや町のイベントを活用したＰＲなど、生涯学習の普及啓発に努めます。
各施設の利用者ニーズを的確に捉え、学習意欲を向上させる講座、イベントの企画に生かします。

■具体的施策■

【具体的施策 1】 多様な媒体を活用した情報提供・共有

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
人材バンクパンフレット発行	生涯学習課	840 部	25%	令和７年度は、各行政区での配布を行うことができなかった。
【重点】 ICT を活用した情報提供(ホームページ・あみメールなど)	生涯学習課	33 事業	66%	紙媒体と併用し、多様な発信手段を用いることで、幅広い層に周知を図った。
	中央公民館	7 事業	140%	情報発信・情報提供の充実のため、紙媒体に加え、ホームページやメール、SNS などを活用した。
	図書館	23 事業	153%	情報発信・情報提供の充実のため、ICT を活用していく。
【重点】 サークル・グループの情報発信	中央公民館	7 回	23%	公民館・コミュニティセンターで活動しているサークル・グループのチラシを、各館で掲示している。 町ホームページにて社会教育関係団体の情報を更新予定
ふれあい地区館だより発行	中央公民館	42 回	84%	年度事業計画や実施実績、各部会ごとの実施状況等を掲載。

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
阿見町の教育発行	学校教育課	データによる発行	―	R6 までは町長、議会、関係各課、教育委員会職員等へ配布を行っていた。R7 以降は DX 化を行い、電子データのみで作成する。
図書館広報活動(図書館案内:あみ☆ライブラリー)	図書館	12 回	100%	図書館のイベントや休館日等の情報を掲載したリーフレットを毎月配布した。
インターネット閲覧提供	図書館	273 人	55%	スマートフォンの普及等もあり、利用頻度は減少傾向にある。

【具体的施策 2】 参加者拡大のためのイベントの充実

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
生涯学習フェスティバル	生涯学習課	9 回 2,751 人	90% 79%	共に育む「教育の日」講演会、人材バンク展、児童生徒作品展、伝統芸能まつり、芸能発表会等
	中央公民館	10 回 3,894 人	100% 85%	・ふれあい地区館まつり(阿見、実穀、吉原、君原、本郷あさひ、舟島、阿見第一、阿見第二) ・君原みんなの作品展(君原ふれあい地区館) ・ふれあいスポーツ交流会(輪投げ)
	図書館	1 回 19 人	100% 48%	大人の折り紙教室を実施
	予科練平和記念館	0 回 0 人	0% 0%	7 年度は改修工事の為臨時休館。今後実施を検討していく。
ふれあい地区館まつり	中央公民館	8 地区館 3,416 人	100% 79%	かすみ公民館工事により阿見第一地区、阿見第二地区は 9 月に実施

【具体的施策 3】 町民ニーズの把握

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
【重点】 イベント・講座・教室参加者へのアンケート	生涯学習課	8 回	80%	参加したくなるイベントや講座等を提供できるよう、町民ニーズの把握を行った。
	中央公民館	135 回	159%	アンケート結果を参考に講座等の更なる内容の充実を図っている。
	図書館	29 回	580%	上映会ほかイベント時にアンケートを実施。
	予科練平和記念館	12 回	300%	実施方法等の検討に活用するため、講演会やイベント等開催時に随時アンケートを実施している。
生涯学習施設利用者アンケート	生涯学習課	2 回	100%	放課後児童クラブ おやつ実施のアンケート 町民体育館 利用者アンケート

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
	中央公民館	1 回	50%	利用実態に加え、利用者のニーズを今後の施設利用の方向性の検討に役立てる。デジタルサイネージの導入に際し、表示内容や利便性等についてのアンケートを実施。
	図書館	0 回	0%	―
	予科練平和記念館	631 回	205%	開館時に来館者を対象にアンケートを実施し、運営に反映させる。
メールでの問合せ	生涯学習課	71 件	―	町ホームページからの問い合わせ
	中央公民館	21 件	―	町ホームページからの問い合わせ
	図書館	9 件	―	町ホームページからの問い合わせ
	予科練平和記念館	46 件	―	記念館ホームページにお問い合わせフォームを設けている。

□識者意見□

（遠藤委員）

講演会は各団体に声をかけても、なかなか参加につながらない。一人でも多くの人に聞いていただくため、各委員会でどのような講演会を行うか、行政でも話し合ってよいのではないか。

□今後の進め方□

紙媒体と ICT を併用し、幅広い層に情報が届くよう周知に努めてまいります。講演会等については、関係課や団体間で開催情報を共有し、参加につながる周知方法を検討します。アンケートは町民ニーズの把握と事業改善に活用してまいります。

基本方針 2-2 多様な学習機会の提供

■取組方針■

町民がいつでも、どこでも、だれでも学べる機会の提供に努めます。
町民ニーズや社会情勢に対応した多様なテーマの講座教室の開催に努めます。
対面式の学習と合わせて、ＩＣＴの活用など時代に即した様々な学習方法を展開します。

■具体的施策■

【具体的施策 1】 ライフステージ・ライフスタイルに合わせた学習機会の提供

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
あみ子ども大学(再掲)	生涯学習課	0 回	0%	「車いすバスケットボール」を実施する予定であったが、参加人数が集まらず開催しなかった。周知を速やかに行う必要がある。令和８年度より、あみ子ども未来塾に変更し、実施していく。

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
講座・教室	生涯学習課	4 事業 155 人	57% 74%	・歩け歩け事業 29 人 ・e スポーツ体験教室 30 人 ・バドミントン教室 40 人 ・大学連携公開講座 5 回 56 人
	中央公民館	117 回 10571 人	117% 106%	原資料コメント：「町民セミナー、講演会、吉原特別講座をどうするか」
【重点】 ナイトスクール	中央公民館	6 回	60%	日中仕事等で参加できない方へ向けた講座 そば打ち教室と Word&Excel、ネイル講座各 2 回 延べ 445 人参加
【重点】 グランド・ジェネレーション講座	中央公民館	5 回	50%	中央公民館や君原公民館等にスマホ講座を実施した。 吉原交流センターにて特別講座として終活講座を実施した。 延べ 280 人参加
【重点】 ふれあい地区館専門部会	中央公民館	684 回	80%	部会毎に計画を立て事業に取り組んでいる。 運営委員会 139 回、高齢部会 218 回 女性部会 88 回、青少年部会 85 回 成人部会 73 回、体育部会 81 回 6,695 人(延べ)
【重点】 三世代交流会	中央公民館	9 回	113%	お楽しみ会や輪投げ、のど自慢など三世代で楽しめるイベントを実施した。 延べ 960 人参加
ふれあい地区館まつり(再掲)	中央公民館	8 地区館 3,416 人	100% 79%	かすみ公民館工事により阿見第一地区、阿見第二地区は 9 月に実施
ふれあいスポーツ交流会	中央公民館	1 回 103 人	100% 57%	毎年 11 月の第 4 日曜日を「ふれあいの日」と定めスポーツ交流会を実施。 R7 は祝日のため第 5 日曜日に実施。
わいわい交流広場	中央公民館	0 回	0%	季節行事などを通じて子どもや子育て世代と祖父母世代との交流を促進することをねらいとした事業。

【具体的施策 2】 町民ニーズや社会的課題などに対応した学習機会の提供

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
大学連携公開講座(再掲)	生涯学習課	1 回	50%	茨城大学農学部の井上栄一教授を講師に招き、8 月から 11 月までの期間で講座を開催した。
共に育む「教育の日」講演会	生涯学習課	148 人	74%	講演名:「繋ぐ　～バレーボールが教えてくれたこと～」 講師:大山 加奈 氏(元女子バレーボール日本代表)
講演会・講座・教室	生涯学習課	3 回	60%	あみ未来塾、人権教育講演会、家庭教育講演会

【具体的施策 3】　ＩＣＴの活用をはじめとする多様な学習機会の充実

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
【重点】 オンラインを取り入れた講演会・講座・教室	生涯学習課	導入検討	0%	事業の性質を精査し、オンラインで実施可能なものについて検討する。
	中央公民館	0 回	0%	オンライン講座の実施に向け、検討を行ったが実施まで至らなかった。
	図書館	0 回	0%	事業の性質を精査し、オンラインで実施可能なものについて検討する
	予科練平和記念館	2 回	50%	学芸員の出張講演会をオンラインで実施した。

□識者意見□

（長谷川委員）

オンライン講座等が前年度から引き続き導入検討となっている。実施目標に対する評価を明確にし、予算が必要であれば、社会教育委員会として予算化に向けた提言に入れていただきたい。

（綾部会長）

オンライン化は取り掛かりが遅く、町全体で働きかける必要がある。重点プロジェクトⅡについては、オンライン化の課題を踏まえ、総合評価を判断したい。

□今後の進め方□

ライフステージやライフスタイルに応じた講座を継続するとともに、オンラインで実施可能な事業を精査してまいります。予算を要するものと既存の環境で対応できるものを整理し、令和８年度の実施目標に向けて具体的な準備を進めます。関係課や社会教育委員会との連携を図り、必要な予算の確保も含めて検討してまいります。

基本方針 2-3 公民館事業の充実

■取組方針■

各公民館施設の利用向上と町民の生涯学習活動や地域交流を充実させる環境づくりに努めます。
多様なニーズに対応した各種イベントや講座などを開催し、学びとふれあいの場を提供します。

■具体的施策■

【具体的施策 1】　公民館サービスの充実

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
公民館・コミュニティセンターの運営管理	中央公民館	14 回	100%	館長会議及び社会教育委員会議において、適正な運営管理について審議している

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
いばらき公共施設予約システムの活用(再掲)	中央公民館	導入検討	0%	いばらき公共施設予約システムが令和 8 年度で終了し新システムへ移行することから、導入へ向けて関係機関と調整を進めている。
【重点】 窓口サービス	中央公民館	導入検討	0%	いばらき公共施設予約システムの導入に向け検討を進めていく。
フリースペース配置	中央公民館	7 施設	100%	各施設のロビーをフリースペースとして活用している。

【具体的施策 2】 多様な町民ニーズに対応した講座・教室の充実

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
【重点】 公民館・コミュニティセンター講座	中央公民館	101 回	119%	音楽、運動健康、生活文化、美術、学習、料理、デジタルのカテゴリに分類し様々な講座を実施した。
ナイトスクール(再掲)	中央公民館	6 回	60%	日中仕事等で参加できない方への講座 そば打ち教室と Word&Excel、ネイル講座各 2 回 延べ 445 人参加
町民セミナー(再掲)	中央公民館	3 回	300%	健康医学講座スペシャル 4 回連続講座 講師:磯部 和正 氏(医学博士) 「好き」で飯食うバッタの博士 講演会 講師:前野 ウルド 幸太郎 氏 人生 100 年時代、家族で学び考える 終活講座 講師:大野 利明 氏(行政書士)
少年少女チャレンジ教室	中央公民館	15 回 365 人	107% 174%	主に小中学生を対象とした体験教室を実施している。 料理教室やダンス教室、ドローン教室を実施した。町役場を訪れ議会を学ぶ講座も実施した。
ふれあい地区館活動(再掲)	中央公民館	37 回 888 人	55% 89%	地域の集会施設を借りて実施する出前講座。 お薬講座、フレイル予防講座、地元歴史講座等を実施した。

【具体的施策 3】 魅力あるイベントの開催

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
阿見町音楽祭	中央公民館	1 回 151 人	100% 60%	本郷ふれあいセンターで実施し、7 団体が出演。交流演奏も行った。

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
フロアコンサート	中央公民館	27 回 2152 人	180% 108%	中央:1 回、君原:1 回、かすみ:2 回 本郷:2 回、舟島:5 回、吉原:6 回 実穀:9 回、音楽祭 1 回 中央公民館は例年通りロビーにてハワイアンコンサートを実施 君原公民館は研修室にて落語会を実施 かすみ公民館、本郷ふれあいセンターは多目的ホールにて大規模なコンサートを実施、舟島ふれあいセンターは集会室にて歌声ひろばを 4 回、参加型のカラオケ大会を 1 回実施 吉原交流センター、実穀ふれあいセンターは少人数のフロアコンサートを複数回実施した。
わいわい交流広場(再掲)	中央公民館	0 回	0%	季節行事などを通じて子どもや子育て世代と祖父母世代との交流を促進することをねらいとした事業。

【具体的施策 4】 学習成果を生かした展示・作品展の充実

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
講座・同好会などの作品展	中央公民館	12 展示	120%	君原公民館 2 展示 かすみ公民館 2 展示 本郷ふれあいセンター 2 展示 舟島ふれあいセンター 3 展示 吉原交流センター 2 展示 実穀ふれあいセンター 1 展示
ふれあい地区館活動展	中央公民館	8 展示	100%	各地区館にて実施

□識者意見□

（綾部会長）

オンライン化については、適切な体制や予算を含め、町全体で働きかけていただきたい。検討から実施へ進めることが課題である。

（滝本委員）

目標が高すぎることで、一生懸命取り組んでいることが評価されないのはもったいない。適正な範囲で目標を設定し、正しく評価していきたい。

□今後の進め方□

利用者の利便性向上に向け、施設予約や講座申込みのオンライン化を進めるため、関係機関との調整を行ってまいります。講座やイベントについては、アンケート等を参考に内容の充実を図り、実績と町民ニーズを踏まえて目標値を設定します。実施回数だけでなく、参加のしやすさや学習成果を生かす機会についても把握してまいります。

基本方針 2-4 図書館事業の充実

■取組方針■

図書館サービスの充実を目指し、ボランティアや学校図書館などとの連携を強化するとともに、
図書資料の充実や施設設備の利用向上を図ります。
町民の読書活動の推進と図書館イベントの充実、利用のＰＲに努めます。

■具体的施策■

【具体的施策 1】 図書館サービスの充実

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
【重点】 図書館サービス(貸出やレファレンスサービス)	図書館	190,048 点	83%	魅力的な蔵書とするため、利用者からのリクエストにも応えながら資料の収集を実施している。
図書館の運営	図書館	100,214 人	100%	図書館の利用人数
公民館・コミュニティセンター図書室の運営	図書館	2 回	100%	公民館文庫の運営として図書資料の入れ替えを実施している。
図書の選定購入	図書館	4,926 冊	99%	年間の図書館における図書購入冊数
視聴覚資料の選定購入	図書館	150 点	88%	CD(68 点)及びDVD(82 点)の選定購入の合計点数
蔵書管理	図書館	蔵書点検 年 1 回 督促状の発送 年 3 回	100%	蔵書点検...6 月 6 日～19 日 督促状...7 月・11 月・3 月に送付
教育研究支援	図書館	273 人	55%	インターネット閲覧人数

【具体的施策 2】 読書活動の推進

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
【重点】 読書記録帳配付	図書館	170 人	38%	従来の児童、学生に加え、令和 7 年 3 月から一般を対象に読書記録帳を発行。
ミステリーバッグ	図書館	2 回	100%	一般 40 袋、児童 33 袋を 2 回実施
絵本の読み聞かせ会	図書館	55 回	71%	おはなしポシェットの会 36 回、くれぱすの会 2 回、個人ボランティア 12 回、高校生会による読み聞かせ 5 回
かみしばい会	図書館	0 回	0%	ボランティア団体が解散してしまい後継する団体がいない状態である。
ブックスタート(絵本に親しむきっかけづくり)	図書館	12 回 378 人	100% 95%	読み聞かせボランティアの協力により事業を実施している。
ブックレット「本は心の栄養です」の作成配布	図書館	事業終了	―	本事業は令和 5 年度で終了。
図書館利用案内配付(新小学 1 年生対象)	図書館	390 部	87%	4 月に利用案内を配付。
学校へのおすすめ本紹介	図書館	1,890 部	135%	7 月、11 月、1 月(各 630 部)に配布。

【具体的施策 3】 図書館イベントの充実

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
【重点】 講演会・講座・教室	図書館	6 回	120%	大好きな家族の絵を描こう、絵本専門士による読み聞かせ講座、読書感想文の書き方教室、絵本の修理講座、大人の折り紙教室
古本市	図書館	1,157 人	116%	除籍本の無料配布を利用した人数
展示	図書館	2 回	67%	図書館 2 階のギャラリースペースの利用回数
上映会	図書館	25 回 247 人	96% 82%	毎月、児童向け、一般向けの上映会を開催。イベントの際にも実施。
ちびっこコンサート	図書館	4 回 160 人	100% 53%	ピアノとフルートの演奏会を 4 月・7 月・9 月・12 月の計 4 回実施。

□識者意見□

（綾部会長）

オンライン化については、検討にとどまらず取り組んでいただきたい。

□今後の進め方□

利用者のリクエストに応じた資料収集や読書活動の推進を継続し、町民が利用しやすい図書館サービスの提供に努めてまいります。また、オンラインで実施できる講座等を精査し、実施に向けて検討を進めてまいります。

基本目標３ 地域で取り組む教育・学習活動

重点プロジェクトⅢ　総合評価 A

■目指す姿■

家庭・学校・地域が連携し、子どもや青少年の成長と、地域住民の主体的な学習活動を支えます。

■点検及び評価■

高校生会活動や家庭教育への支援、学校と地域の連携を進めた。推進会議では、学社連携の人数の集計方法を変更したことによる見かけ上の減少を確認し、取組の内容を踏まえて総合評価をＡとした。集計方法を変更した場合は、その内容を説明するよう意見があった。

■目標指標■

目標指標及び指標の考え方	担当課	R7 目標値	R7 実績	達成率	評価
1 高校生会活動回数 〈自主的に考えた企画の運営やイベント、ボランティア活動への参加など、高校生会としての活動回数〉	生涯学習課	10 回	23 回	230%	A
2-1 家庭教育に関する情報提供数 〈家庭教育に関する情報を提供した数〉	生涯学習課	1,200 部	1,545 部	129%	A
2-2 講演会の参加者数 〈「教育の日」講演会への参加者数〉	生涯学習課	150 人	148 人	99%	A
3-1 学社連携の事業数と実施回数 〈学社連携の事業数と実施回数〉	生涯学習課	80 事業 250 回	67 事業 185 回	83% 73%	B B
3-2 コミュニティ・スクールの数 〈コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の数〉	生涯学習課	5 校	5 校	100%	A

□主な事業□

事業名	内容	担当課
高校生会活動支援	まい・あみ・まつりやさわやかフェア、図書館での読み聞かせやオリガミクス体験等、町や町子連などが主催する事業への協力をはじめ、スキルアップを目的とした研修を行った。また、高校生による自主企画において、町を紹介するマップ作りをサポートし、高校生が町に関わる機会づくりを進めた。	生涯学習課
家庭教育に関する情報提供	県が発行している「子育てアドバイスブック ひよこ」のダイジェスト版(多言語対応)を、出生届提出時に配付。※町民課と連携 また、幼児教育施設等にも配付している。	生涯学習課
共に育む「教育の日」講演会	講演名:「繋ぐ　～バレーボールが教えてくれたこと～」 講師:大山 加奈 氏(元女子バレーボール日本代表)	生涯学習課
学社連携事業	・町内各小中学校で実施し、延べ 12,464 人参加。 ・農業体験(田植え、稲刈り、芋掘り等)、租税教室、交通安全教室、防災教室、町探検等	生涯学習課

事業名	内容	担当課
コミュニティ・スクールの設置	阿見第二小学校、君原小学校、舟島小学校、阿見第一小学校に加え、本郷小学校に学校運営協議会を設置した。	生涯学習課

基本方針 3-1 ふれあい地区館事業の充実

■取組方針■

各地域と連携を図り、実情に合わせた運営体制組織体制を整え、活動の充実に努めます。
ふれあい地区館活動を広くＰＲし、あらゆる町民の参加を促進する取組を進めます。

■具体的施策■

【具体的施策 1】 ふれあい地区館の体制の充実

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
ふれあい地区館運営委員会	中央公民館	139 回 1,563 人	107% 52%	阿見 11、実穀 15、吉原 16、本郷 17 君原 25、舟島 16、第一 22、第二 17
ふれあい地区館推進委員会	中央公民館	545 回 5,132 人	182% 103%	阿見 113、実穀 83、吉原 61、本郷 51 君原　25、舟島 74、第一 63、第二 75
社会教育指導員配置	中央公民館	8 人	100%	阿見、実穀、吉原、本郷・あさひ、君原、舟島、第一、第二に 1 名ずつ配置

【具体的施策 2】 ふれあい地区館活動の充実

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
ふれあい地区館専門部会(再掲)	中央公民館	684 回	80%	部会毎に計画を立て事業に取り組んでいる。 運営委員会 139 回、高齢部会 218 回 女性部会 88 回、青少年部会 85 回 成人部会 73 回、体育部会 81 回 6,695 人(延べ)
ふれあい地区館出前講座	中央公民館	6 地区館 37 回	75% 55%	地域の集会施設を借りて実施する出前講座。 お薬講座、フレイル予防講座、地元歴史講座等を実施した。
ふれあい地区館まつり(再掲)	中央公民館	8 地区館 3,416 人	100% 79%	かすみ公民館工事により阿見第一地区、阿見第二地区は 9 月に実施
三世代交流会(再掲)	中央公民館	9 回	113%	お楽しみ会や輪投げ、のど自慢など三世代で楽しめるイベントを実施した。 延べ 960 人参加
ふれあいスポーツ交流会(再掲)	中央公民館	1 回 103 人	100% 57%	毎年 11 月の第 4 日曜日を「ふれあいの日」と定めスポーツ交流会を実施。 R7 は祝日のため第 5 日曜日に実施。
ふれあい地区館だより発行(再掲)	中央公民館	42 回	84%	年度事業計画や実施実績、各部会ごとの実施状況等を掲載。

□識者意見□

（糸賀委員）

行政区にも取組を取り入れ、「こういうものをやれば活性化できる」という形で取り上げていきたい。区長会にも話を進め、行政区の皆さんから出せる評価をまとめていきたい。

□今後の進め方□

各地区館の活動状況や成果を行政区等と共有し、地域の実情に合った学習・交流の機会を充実させてまいります。地区館の運営委員会や各部会との連携を図るとともに、地域から寄せられる意見を活動の改善に生かし、地域の活性化につなげてまいります。

基本方針 3-2 青少年健全育成・体験活動の推進

■取組方針■

子ども会育成連合会活動や青少年相談員などの活動を支援します。
若い世代の活動の支援と人材育成に努め、若者の地域への参画を促進します。
豊かな人間性を育む体験活動の機会を提供します。

■具体的施策■

【具体的施策 1】 青少年の健全育成

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
【重点】 高校生会活動支援	生涯学習課	23 回	230%	まい・あみ・まつりやさわやかフェア、図書館での読み聞かせやオリガミクス体験等、町や町子連などが主催する事業への協力をはじめ、スキルアップを目的とした研修を行った。また、高校生による自主企画において、町を紹介するマップ作りをサポートし、高校生が町に関わる機会づくりを進めた。
青少年相談員活動支援	生涯学習課	29 回	64%	パトロール実施回数 青少年の夜間外出の有無を確認し、帰宅を促した。
あいさつ・声かけ運動	生涯学習課	4 回	100%	6 月 11 日（水）・12 日（木）、11 月 5 日（水）・6 日（木）
子ども会育成連合会活動支援	生涯学習課	6 事業 397 人	86% 66%	52 育成会、1,555 世帯が登録。単位育成会間の交流機会の提供。移動プラネタリウムやオリガミクス体験、ジュニアバドミントン大会等を実施。
放課後児童クラブ	生涯学習課	1,053 人	96%	利用申請者数
青少年健全育成阿見町民会議活動支援	生涯学習課	0 回	0%	H26.3　町民会議解散。再結成へ向けた検討を進めているが、準備会等を立ち上げるまでには至らなかった。

【具体的施策 2】 体験活動の充実

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
学社連携	生涯学習課	67 事業 185 回	79% 74%	・町内各小中学校で実施し、延べ 12,464 人参加。 ・農業体験(田植え、稲刈り、芋掘り等)、スーパーマーケット見学、親子進路学習、赤ちゃんふれあい体験授業等
体験活動	生涯学習課	6 事業 397 人	100% 72%	球技大会 122 人、オリガミクス体験 50 人、水てっぽうバトル 67 人、親子プログラミング教室 32 人、バドミントン大会 55 人、移動プラネタリウム 71 人
スポーツ教室	生涯学習課	2 事業 69 人	33% 15%	筑波大学バドミントン部を招いてバドミントン教室を実施した。 また、e-スポーツ体験教室を実施した。
放課後子ども教室	生涯学習課	30 回	77%	活動実施回数
ふれあい地区館青少年育成部会	中央公民館	85 回 749 人	170% 107%	移動学習や映画会、体験教室等を実施。
少年少女チャレンジ教室(再掲)	中央公民館	15 回 365 人	107% 174%	主に小中学生を対象とした体験教室を実施している。 料理教室やダンス教室、ドローン教室を実施した。 町役場を訪れ議会を学ぶ講座も実施した。

□識者意見□

（長谷川委員）

子どもたちに対して行っている取組が、人数の数え方の変更によって低く評価されるのであれば、指標のあり方を見直し、正当に評価できるようにしていただきたい。

（菅澤委員）

子どもたちの挨拶の返しと笑顔は、この数値には表れないぐらい大きな効果がある。数値に表れない効果も加味していただきたい。

□今後の進め方□

高校生会の自主的な企画やボランティア活動を支援し、若者が町に関わる機会を充実させてまいります。

基本方針 3-3 家庭の教育力の向上

■取組方針■

家庭教育学級などを通し、子育て中の親が家庭教育について学ぶ機会の充実を図ります。
町ぐるみで家庭教育を支援する環境づくりに取り組みます。
福祉保健教育部門との連携により就学前からの切れ目ない支援を推進します。

■具体的施策■

【具体的施策 1】 家庭教育の学習機会の提供

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
【重点】 家庭教育に関する情報提供	生涯学習課	1,545 部	129%	・県が発行している「子育てアドバイスブック ひよこ」のダイジェスト版(多言語対応)を、出生届提出時に配付。※町民課と連携 また、幼児教育施設等にも配付している。
【重点】 共に育む「教育の日」講演会(再掲)	生涯学習課	148 人	74%	講演名:「繋ぐ　～バレーボールが教えてくれたこと～」 講師:大山 加奈 氏(元女子バレーボール日本代表)
家庭教育学級	生涯学習課	37 回 1,401 人	74% 70%	町内各小中学校で家庭教育学級を開催した。(校長講話、給食センター見学・試食会、食育教室、歯磨き指導等)
家庭教育講演会	生涯学習課	1 回 55 人	100% 28%	講演名:「もしかして、子どもの頭痛ってよくあること？ ～頭痛が生活を変える前に～」 講師:松村 明、田中 夏美、石川 すみれ

【具体的施策 2】 就学前教育への支援

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
保幼小接続カリキュラム	生涯学習課	3 回	300%	情報交換を通して、新入児童に対してより適切な学習指導・生活指導ができるように実施している。※指導室と連携 1 回目:幼児教育施設 7 人、小学校 7 人 2 回目:幼児教育施設 7 人、小学校 7 人 3 回目:幼児教育施設 33 人、小学校 26 人
マナーキッズ体幹遊び教室	生涯学習課	1 回 33 人	100% 55%	未就学児・小学生とその保護者合計 33 人が参加。
ブックスタート(再掲)	図書館	12 回 378 人	100% 95%	読み聞かせボランティアの協力により事業を実施している。

□識者意見□

(大釜委員)

PTA の研修会について参加人数が少ないため、参加を呼びかけたい。

(遠藤委員)(再掲)

講演会への参加がなかなかつながらない。各委員会の講演会について、行政でも情報を共有してよいのではないか。

□今後の進め方□

家庭教育に関する情報を、出生届提出時や幼児教育施設等を通じて提供し、子育て中の保護者が学ぶ機会を確保してまいります。講演会や研修会は、学校・PTA・関係団体との情報共有を進め、参加につながる周知を図ります。就学前教育への支援についても、関係機関との連携を継続してまいります。

基本方針 3-4 学校や地域との連携・協働の推進

■取組方針■

地域の多様な力を生かし、子どもたちの学習や活動を積極的に支援します。
交通安全や防災、防犯など様々な分野において、多様な連携を促進します。
学校部活動については、地域や各団体等と調整連携し、地域移行に向けた取組を推進します。
地域の担い手となる子どもたちの成長を支援するとともに、地域の活性化や学校の負担軽減などを目指し、コミュニティスクールを推進します。

■具体的施策■

【具体的施策 1】 地域の教育力を生かした多様な連携

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
【重点】 学社連携(地域人材を活用した学校教育との連携)(再掲)	生涯学習課	67 事業 185 回	79% 74%	・町内各小中学校で実施し、延べ 12,464 人参加。 ・農業体験(田植え、稲刈り、芋掘り等)、租税教室、交通安全教室、防災教室、町探検等
人材バンク	生涯学習課	58 回	97%	登録者数 72 人。学術・教養や趣味・芸能、スポーツ等の分野において様々な知識や技能をお持ちの方々に登録いただいている。
子ども会育成連合会活動支援(再掲)	生涯学習課	6 事業 397 人	86% 66%	球技大会 122 人、オリガミクス体験 50 人、水てっぽうバトル 67 人、親子プログラミング教室 32 人、バドミントン大会 55 人、移動プラネタリウム 71 人
放課後児童クラブ(再掲)	生涯学習課	1,053 人	96%	利用申込者数
放課後子ども教室(再掲)	生涯学習課	495 人	83%	参加申込者数

【具体的施策 2】 地域とともにある学校づくりの推進支援

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
【重点】 コミュニティ・スクール(学校運営協議会)	生涯学習課	5 校	50%	阿見第二小学校、君原小学校、舟島小学校、阿見第一小学校に加え、本郷小学校に学校運営協議会を設置した。
PTA 連絡協議会活動支援	生涯学習課	1 回	100%	活動支援として町から補助金を交付した。
阿見町部活動地域移行検討委員会	生涯学習課	2 回	66%	部活動の地域移行のための検討委員会を開催した。令和 7 年度は 4 種目の地域移行を行った。

□識者意見□

（長谷川委員）

学社連携の参加人数が大きく減少して見える理由を説明していただきたい。実人数か延べ人数かという数え方を変えたのであれば、指標のあり方を見直し、子どもたちへの取組を正当に評価していただきたい。

（綾部会長）

数のつけ方が変わった場合には、その内容を報告していただきたい。その上で評価する。

（菅澤委員）（再掲）

子どもたちの挨拶や笑顔など、数値に表れない効果を加味していただきたい。

□今後の進め方□

学社連携事業では、学校と地域の連携を継続し、地域人材を生かした体験活動を推進してまいります。参加人数の集計方法を整理し、前年度から変更した場合は、その理由と比較への影響を説明します。活動の回数や人数だけでなく、子どもの反応や地域との関係づくりも成果として捉えます。コミュニティ・スクールについては、令和８年度の７校設置を目標に取り組んでまいります。

基本目標４ みんなの力を生かした連携・協働

重点プロジェクトⅣ　総合評価 B

■目指す姿■

学んだ知識や技能を地域で生かす人材を育成し、互いの違いを認め合いながら連携・協働できる地域を目指します。

■点検及び評価■

あみ未来塾や人材育成基金の活用等が進む一方、ボランティア活動、奨学金制度、外国語講座等では目標との隔たりがあった。推進会議では、実績の変化だけでなく目標値の妥当性やニーズ、周知の状況も踏まえる必要があるとして、総合評価をＢとした。

■目標指標■

目標指標及び指標の考え方	担当課	R7 目標値	R7 実績	達成率	評価
1-1 生涯学習支援ボランティアの人数 〈生涯学習支援ボランティアの登録者数と活動延べ人数〉	生涯学習課	10 人 延べ 50 人	7 人 延べ 33 人	70% 66%	B C
1-2 あみ未来塾の受講者数 〈あみ未来塾の受講者数〉	生涯学習課	30 人	32 人	107%	A
1-3 人材育成基金の活用件数 〈スポーツや文化芸術分野での人材育成基金の活用件数〉	生涯学習課	80 件	163 件	204%	A
1-4 奨学金返還支援補助金の交付件数 〈奨学金返還支援補助金の交付件数〉	生涯学習課	20 件	11 件	55%	C
2-1 人材育成海外留学奨学補助金の交付件数 〈人材育成海外留学奨学補助金の交付件数〉	生涯学習課	5 件	1 件	20%	C
2-2 外国語講座・教室の実施回数と受講者数 〈外国語講座・教室の実施回数と受講者数〉	中央公民館	3 回 45 人	1 回 16 人	33% 36%	C C
3 人権教育講演会の実施回数と参加者数 〈人権教育講演会の実施回数と参加者数〉	生涯学習課	2 回 160 人	2 回 257 人	100% 161%	A A

□主な事業□

事業名	内容	担当課
生涯学習支援ボランティア	講演会事業や公演会事業において、受付のサポートや駐車場の整理を行ってもらった。 登録者を増やすために、ボランティア制度の周知活動を強化します。	生涯学習課
あみ未来塾	28 名の 3 期生を迎え、全 9 回の講座を行い、最後には「阿見町をこんなまちにしたい」をテーマにプレゼンテーションを実施した。継続コースでは、2 期生 4 名により自主的に研究を行ってもらい、その成果を発表する機会を設けた。	生涯学習課
スポーツ・文化芸術の報奨金交付	スポーツ報奨金制度 159 件、文化芸術コンクール等入賞報奨金 4 件の合算。	生涯学習課

事業名	内容	担当課
奨学金返還支援補助金	内訳は、継続 7 件、新規 4 件。あみメール等にて制度周知を行った。実績低迷により当初予算が減額され、目標値を下方修正する。	生涯学習課
人材育成海外留学奨学補助金	留学先は韓国。あみメール等にて制度周知を行ったが、前年同数の実績となった。補助金制度の見直しも視野に検討を進めたい。当初予算が上記同様に減額され、目標値を下方修正する。	生涯学習課
外国語講座・教室	中央公民館にて韓国語講座を実施 8 回講座、延べ参加人数 111 人	中央公民館
人権教育講演会	講演名「差別のない社会づくりをめざす-あたたかい人間関係構築のために-」 講師:島田 和夫 氏(県人権教育室より) 参加人数:47 人 講演名「今の私がポジティブでいられる理由」 講師:川村 エミコ(芸人) 参加人数:210 人	生涯学習課

基本方針 4-1 地域に貢献できる人材の育成・支援

■取組方針■

「一人いち学習、いちスポーツ、いちボランティア」に基づき、ボランティアの育成支援を推進します。
町民の学習成果を生涯学習事業の企画運営や地域に役立てる仕組みづくりを推進します。
外国語講座の充実を図るとともに、海外留学や青少年のホームステイなどを支援し、国際的に活躍できる人材の育成を図ります。

■具体的施策■

【具体的施策 1】 生涯学習に関する指導者やボランティアの育成・支援

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
【重点】 生涯学習支援ボランティア	生涯学習課	7 人 延べ 33 人	35% 33%	講演会事業や公演会事業において、受付のサポートや駐車場の整理を行ってもらった。 登録者を増やすために、ボランティア制度の周知活動を強化します。
高校生会活動支援(再掲)	生涯学習課	23 回	230%	まい・あみ・まつりやさわやかフェア、図書館での読み聞かせやオリガミクス体験等、町や町子連などが主催する事業への協力をはじめ、スキルアップを目的とした研修を行った。また、高校生による自主企画において、町を紹介するマップ作りをサポートし、高校生が町に関わる機会づくりを進めた。
スポーツ推進委員研修会	生涯学習課	2 回 8 人	66% 66%	関東、県南の各研修会に参加した。
社会教育指導員研修会	中央公民館	3 回	150%	生涯学習関係職員等スキルアップ研修会(全 3 回)へ参加した。

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
社会教育指導員定例会	中央公民館	12 回	100%	毎月 1 回開催。 活動報告や意見交換により情報共有を行っている。
図書館ボランティア支援	図書館	13 人	65%	公民館への搬送(火・木・土)と学校への搬送(水・金)を実施。サポーター同士の交流も図っていく。
予科練平和記念館ボランティア支援	予科練平和記念館	7 回	58%	予科練平和記念館、観光ガイド、海原会の 3 者による情報交換会を月 1 回程度実施。

【具体的施策 2】 学んだ知識や技能を地域で生かすための体制の充実

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
【重点】 あみ未来塾(再掲)	生涯学習課	32 人	80%	28 名の 3 期生を迎え、全 9 回の講座を行い、最後には「阿見町をこんなまちにしたい」をテーマにプレゼンテーションを実施した。継続コースでは、2 期生 4 名により自主的に研究を行ってもらい、その成果を発表する機会を設けた。
【重点】 人材育成基金の活用	生涯学習課	163 件	388%	スポーツ報奨金制度 159 件、文化芸術コンクール等入賞報奨金 4 件の合算。
【重点】 奨学金返還支援補助金	生涯学習課	11 件	37%	内訳は、継続 7 件、新規 4 件。あみメール等にて制度周知を行い、新規申請が増えた。
人材バンク(再掲)	生涯学習課	58 回	97%	登録者数 72 人。学術・教養や趣味・芸能、スポーツ等の分野において様々な知識や技能をお持ちの方々に登録いただいている。
ふれあい地区館活動(再掲)	中央公民館	0 地区館	0%	ふれあい地区館活動の事業を円滑に進めるため、各地区館でサポーター制度の導入等の新たな仕組みづくりを検討。

【具体的施策 3】 グローバル人材の育成・支援

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
【重点】 人材育成海外留学奨学補助金	生涯学習課	1 件	10%	留学先は韓国。あみメール等にて制度周知を行ったが、前年同数の実績となった。補助金制度の見直しも視野に入れ、検討を進めたい。
【重点】 外国語講座・教室	中央公民館	1 回 16 人	20% 21%	中央公民館にて韓国語講座を実施 8 回講座、延べ参加人数 111 人
外国語指導助手(ALT)	学校教育課 指導室	8 人	100%	全小中学校に派遣
中学生海外派遣	学校教育課 指導室	11 人	92%	スーペリアに派遣

□識者意見□

（長谷川委員）

ボランティアの活動人数は前年度とほとんど変わらない一方、目標値を上げたことで評価が下がっている。社会情勢や実態を踏まえ、目標値そのものが適切か注意していただきたい。奨学金制度は、PR 不足なのかニーズがないのかを深掘りする必要がある。外国語講座も、町内の外国人構成等を踏まえ、どこにニーズがあるかを考えていただきたい。

（滝本委員）

極端に高い目標を掲げるのではなく、適正な範囲で目標を設定し、取組を正しく評価していきたい。

□今後の進め方□

ボランティア制度の周知を進め、活動の機会を確保するとともに、実績や社会情勢を踏まえて目標値の妥当性を検討してまいります。奨学金返還支援補助金及び海外留学奨学補助金は、周知不足と制度への需要を分けて把握し、利用につながらない要因を検証します。外国語講座についても地域のニーズを把握し、内容の検討に生かしてまいります。

基本方針 4-2 社会教育関係団体等の育成・支援

■取組方針■

各団体からの相談体制を整えるとともに、各団体の実情に合わせた支援に努めます。

■具体的施策■

【具体的施策 1】 社会教育関係団体等の支援

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
文化協会活動支援	生涯学習課	37 団体	93%	主催事業数 6 回。新規加入団体については芸術展や芸能発表会等の発表の場で活動の成果を披露した。
ふれあい地区館同好会支援	中央公民館	15 団体	75%	若栗北 1、寺子 1、筑見 2、二区南 1、中根 1、シンワ 4、上郷 1、阿見台 1、西郷 1、他 2
社会教育関係団体支援	中央公民館	105 団体	88%	中央 22、君原 20、かすみ 17、本郷 22、舟島 18、吉原 4、実穀 2
読書クラブ活動支援	図書館	11 人	92%	読書クラブ会員からの読書感想文を広報あみに掲載している。

□識者意見□

（渡邉委員）

文化協会には多くの団体が参加しており、それぞれの希望や夢が実現されるよう努力している。いろいろな層の住民がいることを踏まえて取り組んでいただきたい。

（糸賀委員）

行政区や区長会にも取組を伝え、地域の活性化につながるよう取り上げていきたい。

□今後の進め方□

社会教育関係団体や文化協会等の活動内容と希望を把握し、多様な住民の学習成果を発表・共有できる機会の確保に努めてまいります。行政区等との情報共有を図り、団体相互のつながりや地域での活動につながる支援を進めてまいります。

基本方針 4-3 多様性を認め合う地域社会の実現

■取組方針■

すべての人が差別されることのない地域社会を目指し、人権尊重の視点に立った生涯学習を推進します。
人権相談や学校における人権教育など、各種啓発事業を推進します。
ダイバーシティ社会実現のため、様々な立場の方が個性を認め合えるよう、啓発事業を推進します。

■具体的施策■

【具体的施策 1】　人権課題の正しい理解・啓発の推進と相談体制の充実

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
【重点】　人権教育講演会	生涯学習課	2 回 257 人	100% 129%	①講演名:「差別のない社会づくりをめざす-あたたかい人間関係構築のために-」 講師:島田　和夫　氏(下妻市役所保健福祉部子育て支援課　家庭相談員) 参加人数:47 人 ②講演名:「今の私がポジティブでいられる理由」 講師:川村　エミコ　氏(お笑いタレント) 参加人数:210 人
平和記念式典派遣	指導室	6 人	100%	各中学校 2 人ずつ派遣。

【具体的施策 2】　ダイバーシティ社会実現の推進

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
人権教育講演会(再掲)	生涯学習課	2 回 257 人	100% 129%	①講演名:「差別のない社会づくりをめざす-あたたかい人間関係構築のために-」 講師:島田　和夫　氏(下妻市役所保健福祉部子育て支援課　家庭相談員) 参加人数:47 人 ②講演名:「今の私がポジティブでいられる理由」 講師:川村エミコ氏(お笑いタレント) 参加人数:210 人
障害者スポーツ	生涯学習課	0 回	0%	「車いすバスケットボール」を実施する予定であったが、参加人数が集まらず開催しなかった。
講座・教室の開催	生涯学習課	0 回	0%	―
	中央公民館	0 回	0%	―

□識者意見□

（長沼副会長）

人権教育の講演会について、学校関係者が参加しやすいよう、対象や実施時期、周知を工夫していただきたい。

（遠藤委員）（再掲）

講演会は団体に声をかけても参加につながりにくい。各委員会がどのような講演会を行うか、行政でも話し合っていただきたい。

□今後の進め方□

人権教育については、議事録で説明された３課連携の取組を踏まえ、関係課・団体で開催情報を共有し、対象者に届く周知を進めてまいります。教職員・保護者を対象とする研修と、一般町民向け講演会の目的や対象を整理します。共同実施事業の成果をどのように計上するかも検討し、多様性を認め合う地域社会の実現につなげてまいります。

基本目標 5 だれもがスポーツを楽しめる環境

重点プロジェクトⅤ　総合評価 B

■目指す姿■

ライフステージやライフスタイルに応じて、だれもが日常的にスポーツに親しめる機会と体制を整えます。

■点検及び評価■

スポーツイベントでは 2 回の開催で 3,388 人が参加した。一方、スポーツ教室やウォーキングは目標に達しなかった。推進会議では、e スポーツへの挑戦も評価し、総合評価を B とした。高齢者が楽しめるスポーツの充実を求める意見があった。

■目標指標■

目標指標及び指標の考え方	担当課	R7 目標値	R7 実績	達成率	評価
1 スポーツイベントの開催回数と参加者数 〈あみスポーツフェスタや町民マラソン大会などの開催回数と参加者数〉	生涯学習課	2 回 1,000 人	2 回 3,388 人	100% 339%	A A
2-1 スポーツ教室などの事業数と参加者数 〈スポーツ教室などの事業数と参加者数〉	生涯学習課	3 事業 200 人	2 事業 69 人	67% 35%	C C
2-2 各種ウォーキングの事業数と参加者数 〈各種ウォーキングの事業数と参加者数〉	生涯学習課	3 事業 150 人	1 事業 29 人	33% 19%	C C

□主な事業□

事業名	内容	担当課
あみスポーツフェスタ・町民マラソン大会	スポーツフェスタ:R4 から 4 回目の実施。催事や出展内容を見直したため、実績数も増加した。 マラソン大会:ファミリーマラソンの周知や一般男性の参加人数が増え、参加人数も増加した。	生涯学習課
バドミントン教室・e スポーツ体験教室	筑波大学バドミントン部を招いてバドミントン教室を実施した。 また、e-スポーツ体験教室を実施した。	生涯学習課
町民親子ハイキング・歩け歩け事業	・町民親子ハイキング ※雨天のため中止 ・歩け歩け事業 29 人 R8 年度は、事業見直しに伴い下方修正した。	生涯学習課

基本方針 5-1 生涯スポーツの普及・啓発

■取組方針■

「一人いちスポーツ」を目指し、各種スポーツイベントの開催、ライフステージ・ライフスタイルに合った取組の充実に努めます。
オリンピックパラリンピック種目やゆるスポーツなど、町民ニーズや時代を踏まえたスポーツの参加機会を提供します。

総合型地域スポーツクラブの支援に努めます。
競技力向上と次世代アスリートの育成支援に努め、競技スポーツの振興を図ります。

■具体的施策■

【具体的施策 1】 スポーツイベント等の充実

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
【重点】 あみスポーツフェスタ	生涯学習課	2,834 人	405%	令和４年度から４回目の実施となった。催事や出展内容を見直したため、実績数も増加した。
【重点】 町民マラソン大会	生涯学習課	554 人	79%	ファミリーマラソンの周知や一般男性の参加人数が増えたため参加人数も増加した。
ちびっ子相撲大会	生涯学習課	1 回 41 人	100% 82%	あみスポーツフェスタ内でちびっこ相撲大会を実施した。
ふれあいスポーツ交流会(再掲)	中央公民館	1 回 103 人	100% 57%	毎年 11 月の第４日曜日を「ふれあいの日」と定めスポーツ交流会を実施。 令和７年度は祝日のため第５日曜日に実施。

【具体的施策 2】 ライフステージやライフスタイルに応じたスポーツの推進

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
【重点】 スポーツ教室(再掲)	生涯学習課	2 事業 69 人	33% 15%	筑波大学バドミントン部を招いてバドミントン教室を実施した。 また、e-スポーツ体験教室を実施した。
【重点】 各種ウォーキング	生涯学習課	1 事業 29 人	25% 8%	・町民親子ハイキング ※雨天のため中止 ・歩け歩け事業 29 人
障害者スポーツ(再掲)	生涯学習課	0 回	0%	「車いすバスケットボール」を実施する予定であったが、参加人数が集まらず開催しなかった。
総合型地域スポーツクラブ活動支援	生涯学習課	1 施設	100%	活動支援として、町民体育館を月２回(毎週月曜日と土曜日)貸し出している。
ふれあい地区館健康づくり活動	中央公民館	8 地区館 1,566 人	100% 58%	グラウンドゴルフ(阿見、実穀、吉原、君原)やスクエアステップ(実穀)、シルバーリハビリ体操(吉原、君原、舟島)を実施。

【具体的施策 3】 競技スポーツの振興

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
スポーツ大会出場補助金	生涯学習課	159 件	318%	新制度発足後、２年度目であり、件数も大幅に増加した
大会上位入賞者の懸垂幕設置	生涯学習課	8 件	160%	目標値を達成した。数々のスポーツ振興事業の成果ともいえるので、令和６年度の水準を維持したい。

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
トップアスリートとの交流	生涯学習課	0 回	0%	スポーツ教室等によりトップアスリートとの交流機会が創出できるよう努める。令和７年度には筑波大学のバドミントン部に協力いただいた

□識者意見□

（綾部会長）

指標にはＣ評価もあるが、ｅスポーツに挑戦したことも踏まえ、重点プロジェクトⅤの総合評価はＢとする。

（大竹委員）

スポーツフェスタは参加者や催し物が増え、にぎやかになっている。知名度も上がってきており、今後も楽しみにしている。

（向島委員）

高齢者が楽しめるスポーツをもっと行いたい。多くのいろいろなスポーツを楽しみたい。

□今後の進め方□

スポーツフェスタや町民マラソン大会を通じて、町民がスポーツに親しむ機会を継続してまいります。ｅスポーツなど新たな参加の機会も生かし、高齢者を含め、年齢や体力に応じて楽しめる教室・事業を検討します。参加者数が目標に届かなかった事業は、内容や周知方法を振り返り、令和８年度の目標と実施内容に反映してまいります。

基本方針 5-2 スポーツ団体・組織の育成・支援と指導者の育成

■取組方針■

各スポーツ団体等の育成支援に努め、活動の活性化を図るなど生涯スポーツ活動を推進します。
生涯スポーツ指導者の計画的な育成や指導者に対するきめ細かな支援に努めます。

■具体的施策■

【具体的施策 1】　スポーツ団体・組織の育成・支援

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
スポーツ協会活動支援	生涯学習課	18 団体	100%	主に活動補助金交付や研修会の開催、各種スポーツ大会への協力を行った。
スポーツ少年団活動支援	生涯学習課	18 団体	100%	主に活動補助金交付や研修会の開催、各種スポーツ大会への協力を行った。
学校施設利用団体説明会	生涯学習課	1 回	100%	学校体育施設利用に関する手続きや注意事項等を共有するための会議を開催した。
学校体育施設開放	生涯学習課	6,346 回	106%	学校体育施設の開放を通年で行った。

【具体的施策 2】 組織の計画的な維持や発展のための指導者の育成

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
スポーツ推進委員研修会 （再掲）	生涯学習課	2 回 8 人	67% 67%	関東、県南の各研修会に参加した。
スポーツ協会・スポーツ少年団合同研修会	生涯学習課	1 回 29 名	100% 83%	救急救命講習を実施した。

□識者意見□

（向島委員）

スポーツ協会の立場から、高齢者が楽しめるスポーツをもっと行いたい。

（長谷川委員）

体育館の空調など、利用者の安全に関わる施設整備は、計画への位置付けと予算の整合を図る必要がある。

□今後の進め方□

スポーツ協会やスポーツ少年団との連携を図り、高齢者を含む幅広い町民の参加につながる活動を支援してまいります。指導者の研修や団体間の情報共有を継続し、安全に活動できる体制を整えます。学校体育施設等の利用環境についても、施設整備の計画と整合を図りながら対応してまいります。

基本目標 6 みんなでつなげる文化・歴史

重点プロジェクトⅥ　総合評価 A

■目指す姿■

文化芸術に触れる機会を広げ、地域の伝統文化・歴史・文化財を継承し、予科練平和記念館から平和を発信します。

■点検及び評価■

伝統芸能補助制度の作成、町史編さん、予科練平和記念館の展示や情報発信等に取り組んだ。推進会議では 5 つの指標が全て A 評価であることを確認し、総合評価を A とした。町史は令和 12 年度刊行を目標とする旨が説明された。

■目標指標■

目標指標及び指標の考え方	担当課	R7 目標値	R7 実績	達成率	評価
1-1 町伝統芸能補助制度の利用実績 〈町伝統芸能補助制度の利用件数〉	生涯学習課	導入準備	制度作成	100%	A
1-2 町史編さん委員会の開催回数 〈町史編さん委員会の開催回数〉	生涯学習課	3 回	4 回	133%	A
2-1 予科練平和記念館企画展示の開催回数 〈予科練平和記念館企画展示の開催回数〉	予科練平和記念館	2 回	3 回	150%	A
2-2 予科練平和記念館年報の発行数 〈収集した資料を研究し、年報としてまとめた数〉	予科練平和記念館	1 回	1 回	100%	A
2-3 予科練平和記念館情報発信の回数 〈様々な媒体での情報発信回数(ホームページ更新、Twitter 配信など)〉	予科練平和記念館	平均週 3 回 (イベントなどに限らず、状況報告)	平均週 3 回更新	150%	A

□主な事業□

事業名	内容	担当課
町伝統芸能継承事業費補助金	町伝統芸能継承事業費補助金	生涯学習課
町史編さん委員会・専門部会	準備会を含め 4 回開催した。各専門部会により調査研究進めた	生涯学習課
予科練平和記念館企画展示	企画展示として「甲種第 14 期予科練生の諸相」「加納康夫海軍機絵画展 I」、開館 15 周年特別展として「ペンを剣にかえて 海軍予備学生の軌跡」を開催。	予科練平和記念館
予科練平和記念館年報の発行	年一回発行。巻末に歴史調査委員による研究成果を掲載している。	予科練平和記念館
予科練平和記念館の広報活動	土曜日の売店納入状況、日曜日の零戦模型展示状況、定時展示解説開催情報、各種イベント情報等を発信している。	予科練平和記念館

文化財係及び予科練平和記念館の事業は、令和 8 年度から文化課が担当する。担当課欄は令和 7 年度の原資料表記。

基本方針 6-1 文化芸術に触れるための環境づくり

■取組方針■

文化芸術活動の振興体制の充実や文化活動を行う団体個人の育成支援に努めます。
創作活動の成果発表の場である作品展の充実など文化啓発に努めます。
町民が質の高い多様な文化芸術に触れる機会を提供します。

■具体的施策■

【具体的施策 1】 文化芸術振興体制の充実

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
文化芸術振興審議会(再掲)	生涯学習課	1 回 8 人	100% 80%	令和６年度までの総括評価を行うとともに、第２次生涯学習推進計画と連動した形で文化芸術面の評価と推進を行うことを確認した。
文化協会活動支援(再掲)	生涯学習課	39 団体 434 人	97% 78%	7 部門(舞踊・芸能・音楽・美術・古典芸能・文学・生活文化)

【具体的施策 2】 文化芸術活動の支援

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
芸術展(再掲)	生涯学習課	160 人	26%	10 月 19 日(日)～10 月 26 日(日) 中央公民館
児童生徒作品展	生涯学習課	1,697 点	131%	10 月 29 日(水)～11 月 9 日(日)中央公民館　作品数
芸能発表会	生涯学習課	99 人	49%	11 月 30 日(日) 本郷ふれあいセンター
人材育成基金の活用(文化芸術活動補助)(再掲)	生涯学習課	4 件	200%	文化芸術コンクール等入賞報奨金の交付件数
フロアコンサート(再掲)	中央公民館	27 回 2152 人	180% 108%	中央:1 回、君原:1 回、かすみ:2 回 本郷:2 回、舟島:5 回、吉原:6 回 実穀:9 回、音楽祭 1 回 中央公民館は例年通りロビーにてハワイアンコンサートを実施 君原公民館は研修室にて落語会を実施 かすみ公民館、本郷ふれあいセンターは多目的ホールにて大規模なコンサートを実施、舟島ふれあいセンターは集会室にて歌声ひろばを 4 回、参加型のカラオケ大会を 1 回実施 吉原交流センター、実穀ふれあいセンターは少人数のフロアコンサートを複数回実施した。
阿見町音楽祭(再掲)	中央公民館	1 回 151 人	100% 60%	本郷ふれあいセンターで実施し、7 団体が出演。交流演奏も行った。
展示(再掲)	図書館	2 回	67%	図書館 2 階のギャラリースペースの利用回数
ちびっこコンサート	図書館	4 回 160 人	100% 53%	ピアノとフルートの演奏会を 4 月・7 月・9 月・12 月の計 4 回実施。

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
音楽鑑賞会	予科練平和記念館	2 回	100%	7 月 10 日（木）歌語り 8 月 9 日（金）朗読劇

【具体的施策 3】　質の高い文化芸術に触れる機会づくり

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
公演会	生涯学習課	522 人	75%	沖縄伝統芸能鑑賞会(154 人) クリスマス・ジャズコンサート(185 人) 新春お好み演芸寄席(183 人)
芸術鑑賞事業	生涯学習課	検討中	0%	鑑賞内容や開催時期、移動手段等の検討を図る。

□識者意見□

（渡邉委員）

文化協会には多くの団体が参加している。それぞれの希望や夢が実現されるよう取り組んでおり、多様な層の住民のためにも施策を進めていただきたい。

□今後の進め方□

文化協会等の意見を把握し、各団体や多様な住民の希望に応じた文化芸術活動の支援に努めてまいります。芸術展や芸能発表会、公演会等を通じて、日頃の活動の成果を発表するとともに、質の高い文化芸術に触れる機会を確保してまいります。

基本方針 6-2 伝統文化・歴史の継承と文化財の保護活動

■取組方針■

地域に伝わるお囃子や踊り、獅子舞などの芸能、おまつりや盆綱等の風習など、伝統文化の保存継承を進めます。
本町の貴重な歴史遺産の保全に努め、町の有する歴史を正しく次世代に継承していきます。
文化財については、各種調査などにより保護に努めるとともに、国県の制度を活用して文化財の一体的な整備を図り、公開を目指します。
展示や企画展の充実に努めるとともに、資料の保存や調査研究、展示公開ができる施設の整備を検討します。

■具体的施策■

【具体的施策 1】　地域に根ざした伝統文化の継承

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
【重点】伝統芸能の継承	生涯学習課	制度作成	0%	町伝統芸能継承事業費補助金
伝統芸能まつり	生涯学習課	1 回 102 人	100% 51%	10 月 12 日(日）本郷ふれあいセンター

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
伝統文化推進協議会	生涯学習課	1 回 8 人	100% 88%	8 月 7 日(木) 中央公民館
ふるさと文芸検討委員会	生涯学習課	5 回 42 人	100% 84%	6 月 17 日(火)、10 月 16 日(木)、11 月 27 日(木)、1 月 23 日(金)、3 月 11 日(水)
下村千秋記念賞読書感想文・感想画コンクール作品展示	生涯学習課	1 回 383 点	100% 95%	応募点数 作品展示 1 月 30 日(金)～2 月 6 日(金) 中央公民館

【具体的施策 2】 貴重な歴史文化の継承

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
【重点】町史の編さん	生涯学習課	1 回 10 人	25% 22%	町史編さん委員会開催数、参加者数
【重点】戦跡の保全	生涯学習課	167 箇所	92%	奇数月の広報あみ通常版に紹介記事を掲載
社会科副読本改訂	指導室	―	―	令和 8 年度改訂予定(市制施行に合わせる)

【具体的施策 3】 文化財の保護

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
指定文化財保護	生涯学習課	24 件	92%	県指定文化財 3 件 町指定文化財 21 件
文化財保護審議会	生涯学習課	1 回 7 人	25% 17%	7 月 15 日(火)開催
埋蔵文化財調査・保護	生涯学習課	216 遺跡	100%	文化財保護法に係る埋蔵文化財の取り扱い 120 件
文化財展	生涯学習課	4 班出展	80%	10 月 18 日(土)～10 月 26 日(日) 中央公民館
文化財調査研究会	生涯学習課	5 班 17 人	100% 68%	8 月 7 日(木)に総会を開催
まちづくり探検隊	生涯学習課	10 チーム	100%	参加チーム数 作品展示 10 月 29 日(水)～11 月 9 日(日) 中央公民館

□識者意見□

（綾部会長）

町史の発行時期を確認した。様々なことが町で起こっており、予定どおりに進まないことも考えられるが、刊行を待っている。重点プロジェクトⅥは全ての指標が A 評価であることから、総合評価を A とする。

□今後の進め方□

町史については、議事録で示された令和 12 年度の刊行目標に向け、町史編さん委員会及び各専門部会による調査研究を進めてまいります。町伝統芸能継承事業費補助金は、令和 8 年度の運用開始と 1 件の

利用を目標とし、伝統文化の継承を支援します。文化財や戦跡の保護・活用と併せ、文化課への所管移管後も継続して取り組んでまいります。

基本方針 6-3 予科練平和記念館の充実と活用

■取組方針■

予科練の歴史を伝承し、命の尊さや平和の大切さを伝えることにより、地域の歴史への理解を深めるとともに、平和教育の向上を目指します。
企画展や多様な事業を展開するとともに、町内外に向け予科練平和記念館のＰＲに努めます。

■具体的施策■

【具体的施策 1】 予科練平和記念館事業の推進

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
【重点】企画展示	予科練平和記念館	3 回	150%	3 月 15 日（土）～6 月 15 日（日）開館 15 周年特別展「ペンを剣にかえて一海軍予備学生の軌跡」 7 月 23 日（水）～9 月 5 日（金）企画展「戦後の予科練-それぞれの人生 そして慰霊」 3 月 28 日（土）～6 月 21 日（日）企画展「心をつないで-海原会のこれまでとこれから」
【重点】資料の収集・管理	予科練平和記念館	1 回	100%	年報発行 ※令和 5 年度は発行時期変更に伴い実績なし
常設展示	予科練平和記念館	45,532 人	83%	年間来館者数 屋上防水外壁改修工事に伴う臨時休館(令和 7 年 9 月 1 日～令和 8 年 1 月 31 日)による減
イベント・講演会	予科練平和記念館	19 回	600% 233%	講演会 12 回(うち出張講演 9 回) イベント等 7 回

【具体的施策 2】 予科練平和記念館のＰＲ促進

事業名	担当課	R7 実績	進捗率	実績及び取組内容
【重点】ICT を活用した情報提供	予科練平和記念館	週 1～2 回	100%	企画展、イベント情報、開閉館情報、零戦展示情報、館内・駐車場混雑情報、団体予約状況、売店情報ほか
紙媒体による広報活動	予科練平和記念館	18 回	120%	広報あみの記念館専用ページは令和 7 年度より廃止。

□識者意見□

（綾部会長）

重点プロジェクトⅥは、A 評価が 5 つで B 及び C がないため、全体評価を A とすることを確認した。

□今後の進め方□。

企画展示や収集資料の研究、年報の発行を継続し、予科練の歴史と平和の大切さを伝えてまいります。ホームページやSNS等では、企画展示、イベント、開館状況などを発信し、町内外への周知を図ります。令和８年度からの文化課への所管移管を踏まえ、事業と情報発信を継続してまいります。

5 全体の評価及び今後の進め方

基本目標ごとの総合評価

重点プロジェクト	基本目標	総合評価	評価に当たっての主な論点
Ⅰ	だれもが学べる環境	A	大学・企業等との連携や施設予約システムの活用が進み、電子申請についても事業数と利用者数を分けて評価した。推進会議では、一部の個別指標にＣ評価があることを確認した上で、総合評価をＡとした。
Ⅱ	だれもが学べる機会	B	ICTによる情報提供や各種講座、図書館サービス等の取組が行われた。一方、オンライン講座や窓口サービスのオンライン化には課題が残った。推進会議では、オンライン化を検討から実施へ進める必要があるとして、総合評価をＢとした。
Ⅲ	地域で取り組む教育・学習活動	A	高校生会活動や家庭教育への支援、学校と地域の連携を進めた。推進会議では、学社連携の人数の集計方法を変更したことによる見かけ上の減少を確認し、取組の内容を踏まえて総合評価をＡとした。集計方法を変更した場合は、その内容を説明するよう意見があった。
Ⅳ	みんなの力を生かした連携・協働	B	あみ未来塾や人材育成基金の活用等が進む一方、ボランティア活動、奨学金制度、外国語講座等では目標との隔たりがあった。推進会議では、実績の変化だけでなく目標値の妥当性やニーズ、周知の状況も踏まえる必要があるとして、総合評価をＢとした。
Ⅴ	だれもがスポーツを楽しめる環境	B	スポーツイベントでは２回の開催で3,388人が参加した。一方、スポーツ教室やウォーキングは目標に達しなかった。推進会議では、ｅスポーツへの挑戦も評価し、総合評価をＢとした。高齢者が楽しめるスポーツの充実を求める意見があった。
Ⅵ	みんなでつなげる文化・歴史	A	伝統芸能補助制度の作成、町史編さん、予科練平和記念館の展示や情報発信等に取り組んだ。推進会議では５つの指標が全てＡ評価であることを確認し、総合評価をＡとした。町史は令和12年度刊行を目標とする旨が説明された。

計画全体の成果と課題

大学・企業等との連携、学習機会の提供、高校生会活動、地域人材の活用、スポーツイベント、文化・歴史の継承等の取組が行われました。推進会議では、重点プロジェクトⅠ・Ⅲ・Ⅵを A、Ⅱ・Ⅳ・Ⅴを B と評価しました。一方、オンライン化、目標値と実績の整合、事業の周知と需要の把握、資料の正確性が共通する課題として挙げられました。

□識者意見□

（長谷川委員）

予算がなくて実施できないということにならないよう、必要な計画変更を行い、実施計画と予算につなげる必要がある。町民の代表として委員も力になり、一緒に進めていきたい。

（滝本委員）

高すぎる目標によって取組が十分に評価されないことのないよう、適正な範囲で目標を設定していただきたい。

（菅澤委員）

子どもたちの挨拶や笑顔など、数値に表れない効果を加味していただきたい。

□今後の進め方□

指標の定義、集計期間、実人数と延べ人数の区分を明確にし、集計方法を変更した場合は、その理由と前年度比較への影響を説明してまいります。目標値は実績や社会情勢を踏まえて検討し、数値による評価に加えて、事業の内容や参加者の変化などの成果も把握します。

オンライン化は実施可能な事業と必要な経費・体制を整理し、関係課や社会教育委員会等との連携の下、実施につなげてまいります。利用が伸びない制度や講座については、周知不足と需要の状況を分けて検証し、改善を図ります。施設整備等は計画との整合を確認し、必要な見直しを検討します。

会議資料は、各課の実績資料との照合を行い、委員が内容を十分に確認できるよう早期の提供に努めます。令和８年度の実績及び進捗状況は、議事録で示されたとおり、翌年度の推進会議で審議する予定です。